

JICA研修員の受け入れ

日本の花き園芸を学ぶため、日系ブラジル人大保広幸マルセロ氏が(独)国際協力機構(JICA)を通じて来日されました。大保氏は、ブラジル国サンパウロ州アチバイア市出身の23歳で、実家はバラの鉢物を中心とした花き類を栽培されており、10月13日から12月11日まで農林センター園芸部花き研修員として受け入れています。

研修ではバラの鉢物栽培を中心に、キク、ヒマワリなどの栽培に取り組んでいます。また、挿し木技術を習得したいとのことで、電熱温床ベンチやミスト装置の作成などの研修も行っています。

今後は視察などを通して様々な植物に触れ、幅広い知識と技術の習得を援助します。



研修の様子（プラグ苗の移植）